

森林由来の資源を燃料に
電気エネルギーを生み出します。
私たちは、再生可能エネルギーによる発電を行っています。



株式会社エフオン新宮

木質専焼
バイオマス発電所

新宮発電所

発電出力

18,000kW

燃料

木質チップ
(年間約21万t)

敷地面積

約53,000m²

運転開始

2022年
8月

◎100%木質チップでの発電なので、環境に優しい

◎オペレーション、整備、燃料調達をエフバイオスに委託
燃料調達から整備保守まで一貫して自社グループで管理しているため効率的で確実な運営が可能です。

◎荏原環境プラント製のバブリングボイラによる木質専焼発電

新宮市に立地した理由

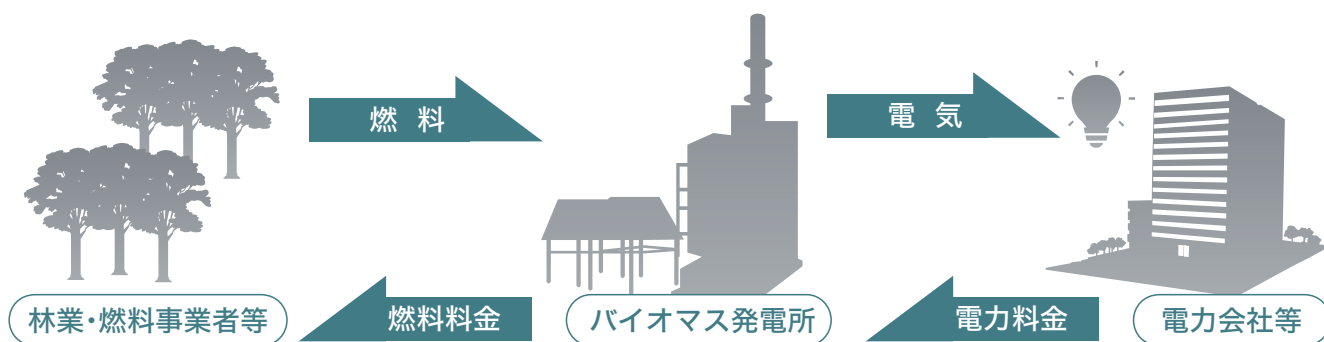
新宮市を含む和歌山県は、面積のおよそ3/4を森林が占めており、資源に溢れた豊かな土地です。木質バイオマス発電の燃料となるチップの収集も期待できることから、新宮市に立地しています。

エフオンのバイオマス発電所の役割

近年日本の森林は、林業従事者の減少などにより、手入れが十分になされていないため、荒廃が進んでいるといわれています。

エフオンの発電所では、未利用材をはじめ、今まで使用されなかった木材を燃料として使用し、貴重な国産資源を余すことなく利用しています。

また、林業従事者の育成にも取り組んでおり、林業を中心とした産業の発展を目指しています。



会社概要

Company Profile

会社名	株式会社エフオン新宮
事業内容	木質バイオマスによる発電、及び電力卸売事業
代表者	代表取締役社長 小池久士
新宮発電所	〒647-0071 和歌山県新宮市佐野字下地2140-1 TEL : 0735-29-7136 FAX : 0735-29-7137

